

やさしい中学歴史 5-2 チェック問題 氏名

- (1) 7世紀前半、中国では〔① 〕が滅び、〔② 〕が中国を統一した。その進んだ政治制度や文化を学ぶため、日本からも〔③ 〕が派遣された。
- (2) 聖徳太子の死後、蘇我氏が天皇をしのぐほどの力を持ち、独裁的な政治を行った。それに対する不満が高まり645年、〔① 〕は〔② 〕らの協力を得て、蘇我蝦夷と入鹿の親子を倒した。646年、改新の詔が出され、政治改革が始まった。これを〔③ 〕という。
- (3) 663年、百済の復興を助けるため朝鮮半島に出兵した。これを〔① 〕の戦いという。しかし日本と百済の連合軍は、唐と新羅の連合軍に敗れた。これにより日本は朝鮮半島での影響力を完全に失い、唐と新羅が日本に攻めてくる恐れも出てきた。そこで九州北部を守るため〔② 〕と呼ばれる兵士を置いた。
- (4) 中大兄皇子は〔① 〕天皇〕となり、天皇中心の国づくりを行った。唐と新羅をみならって〔② 〕にもとづく政治を目指した。そのために日本で初めての全国的な戸籍である〔③ 〕をつくった。
- (5) 天智天皇の死後、息子の中大兄皇子と弟の大海人皇子の間で、天皇の地位をめぐる672年に戦いが起きた。これを〔① 〕の乱〕という。弟の大海人皇子が勝利し〔② 〕天皇〕となった。都を飛鳥に移し、天皇中心の政治を目指した。またこの頃、日本最古の貨幣である〔③ 〕がつくられたといわれている。
- (6) 701年〔① 〕が制定され、律令政治が実現した。豪族は高い身分などが与えられ〔② 〕と呼ばれるようになった。そして国ごとに中央から〔③ 〕を派遣し、行政を担当させた。土地と人民は天皇のものとする〔④ 〕制〕が実施され、6歳以上のすべての男女に〔⑤ 〕という農地を与え、その人が死ぬと国に返させた。これを〔⑥ 〕法〕という。
- (7) 税制改革も行われた。口分田の収穫量の約3%の稲を納めることを〔① 〕という。地方の特産物を納めることを〔② 〕という。都で労働をするか布を納めることを〔③ 〕という。その他、国司のもとで労働させる〔④ 〕もあった。以上のような改革、大宝律令は〔⑤ 〕を中心に作られた。

(1)①	(1)②	(2)①
(2)②	(2)③	(3)①
(3)②	(4)①	(4)②
(4)③	(5)①	(5)②
(5)③	(6)①	(6)②
(6)③	(6)④	(6)⑤
(6)⑥	(7)①	(7)②
(7)③	(7)④	(7)⑤